

光を北方から

令和5年度学校だより第2号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 宮岸 尚平

令和5年7月21日

子どもたちの笑顔

教頭 千葉 秀輝

4月に旭川盲学校に着任してあっという間に1学期が終わりました。しかし、あっという間の期間には大きな変化を感じています。5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、学校の教育活動がようやく通常の姿を取り戻してきました。入学式や運動会は来賓や保護者の方々、観客のみなさんが制限なしで、来校できるようになりました。たくさんのお祝いの言葉や歓声の声をいただくことができ、子どもたちの明るく、元気な姿を見ていただけるようになりました。見学旅行や宿泊研修なども行けるのか行けないのかという心配をすることなく実施することもできるようになりました。子どもたちにとって楽しく、思い出に残る経験を積ませることができるようになりました。給食もみんなで楽しく食べられるようになりました。そして、マスクが外せるようになり、笑顔がはっきり見られるようになりました。この子はこんな笑顔だったのかと幸せな気持ちになります。本当に喜ばしいことです。

さて、新型コロナウイルス感染症により、この3年余りの間に、オンライン環境が一気に整ったことが教育現場での一番の変化であり成果でもあります。各教科の授業や自立活動、特別活動などにおける話し合い活動や調べ学習には、各自が使用するタブレット端末を有効に活用しています。遠隔地との通信によって、様々な人との交流も可能となりました。一方で、ICTを活用する際のインターネットモラルの徹底など子どもたちに対する危機管理も重要な課題であり、また、教員の活用スキルアップも求められます。これからの学校は、これまでコロナ禍で得た、成果を生かした新しい生活様式を取り入れていきつつ、コロナ禍で見えなくなった従来の教育活動の成果も途絶えさせることのないようにすることが求められていくと考えます。

また、ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症は、5類感染症に移行しましたが、なくなった訳ではありません。本校においても適切な感染症対策を継続していきます。今年度も安心・安全な教育環境のもと、子どもたち一人一人のために様々な取組を推進していきます。これからも引き続き本校の教育活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

幼稚部校外学習

幼稚部は「フィール旭川」内の「もりもりパーク」に親子遠足で出かけました。初めて乗る福祉バスに少し緊張しながらも、バスの振動や小学部のお兄さん、お姉さんたちと一緒に空間を楽しめたようです。また、旭川市の中心街も散策することができ、いろいろな刺激を五感で味わうことができました。

次はどこに出かけてみようかな？何をして遊ぼうかな？・・・今から楽しみです。



小学部遠足

小学部は当麻町にある「くるみなの木遊館」へ行ってきました。木の温もり溢れる空間で、船や家のかたちをした木製の遊具、釣りセットや車などの手に取ることでできる木のおもちゃがたくさんありました。

たくさん触って、たくさん遊んで、みんなでおやつ交換もして、楽しい時間を過ごしました。



中学部宿泊研修

中学部2年生1名で、7月13日(木)から14日(金)までの日程で宿泊研修に行ってきました。路線バスや鉄道を使って移動し、深川市の「アグリ工房まあぶ」のコテージで2日間を過ごしました。1日目は、旭川駅前イオンで夜ご飯と朝ご飯の材料を選んで購入する活動をしました。その食材を使ってコテージの台所で調理実習をしながら好きなメニューの夕飯を作りました。たくさん作りましたが残さずお腹いっぱい食べることができました。夜には、ゆっくり入浴し、9:30分にはぐっすり睡眠につけました。2日目は米粉シフォンケーキ作りの体験を行い、米粉の分量を計ったり、均等に混ぜたりして焼き上がりを楽しみに待つことができました。試食では、美味しくできあがったケーキをあっという間に全部たいらげていました。暑い中での2日間の活動でしたが、校外での様々な体験を通して、今後の学校生活で生かせるものと期待しています。



中学部見学旅行

6月28日～30日に函館方面に見学旅行に行ってきました。函館に着いて最初に行ったのは「函館山」。この日はあいにくの天気ですが、雲が一面に広がっていたのですが、それが逆に雲海のように楽しめました。他にも混雑した市電に乗ったり、ラッキーピエロでふとっちょバーガーに挑戦したり、温泉で一息ついたり、夜に部屋に集合してビンゴ大会をしたり、札幌でリトルマーメイドを鑑賞するなど、思い出をたくさん作ることができました。5名全員が無事に旅行をすることができて良かったです。



幼小学部の様子

今年の幼小学部は、幼稚部2名、小学部3名の計5名の幼児児童が在籍しています。

幼小学部では、5名と一緒に活動する機会として、学部集会を毎月1回行い、季節の行事や誕生会などをしています。例えば、5月にはゲーム大会を行い、「風船コロコロあっちいけゲーム」や「ボーリング」をしました。7月には、七夕の願い事を書いた短冊を飾ったり、星釣りゲームをしたりして楽しみました。誕生日会では、子ども達の手作りプレゼントを渡したり、児童によるピアノの生演奏で「ハッピーバースデートゥーユー」をみんなで歌ったりしてお祝いをしています。

これからも、子ども達同士の関わりを大切にしながら、学部集会での活動に取り組んでいきたいと思っています。



中学部の様子

給食の様子をお伝えします。5月からの新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、配膳方法や座席を変えました。食事中は黙食であった以前に比べ、生徒同士や教師との会話が増え、ますます楽しい給食時間となっています。さらに7月からは、水曜日限定で、好きな座席を選べる「ごちゃまぜ給食」が復活し、普段とは違う仲間や教師ともコミュニケーションをとる良い機会となっています。

D組の家庭科の学習で赤ちゃんに触れ合う授業があり、このような体験は貴重な機会ですので、中学部生徒全員で赤ちゃんを囲んで授業を行いました。生後2か月の赤ちゃんを順番に抱っこしたり、手足を握ったりして、触れ合いました。質問コーナーもあり、母親に答えてもらう等、実りの多い体験となりました。自分たちも小さい時に大切に大切に育てられて来たことも、この体験を通して理解されたと思います。今後も、体験やコミュニケーションを中心とした学習活動に注力していきます。



寄宿舎

月に一度（4、8、1月を除く）余暇活動としてアウルの会とランランタイムがあります。

アウルの会ではボランティアさんが読んでくれる絵本にドキドキしたり、ほっこりしたり、時々、笑いも起こったりしながら楽しい時間を過ごしています。なぞなぞクイズタイムも毎回、盛り上がっています。

ランランタイムでは、準備体操で体をほぐした後、体育館やグラウンドを走っています。それぞれ自分のペースで取り組んでいます。



運動会

「走ろう！楽しもう！次のステージへ！」

6月10日に開催された令和5年の運動会。101年目を迎えたテーマに子どもたちの想いを感じます。コロナ禍も終え、今年から新たにPTA種目として、会場の皆さんと一緒に取り組む内容も行いました。（今年は玉入れ競技でした）



幼小学部のミッキーや中学部のWBCネタも、生徒も先生方も一緒に楽しみ、盛り上がった種目でした。最後に行われたリレーでは、最後の最後まで競り合う様子も見られました。

さて、走ることを楽しみ、次のステージへの挑戦は、運動会から文体連へと続きます。中学部の皆さんは頑張ってください。引き続き応援をよろしくお願い致します。

子ども相談支援センター

- いじめられて、こまっている
- がっこうにいきたいのに、いけない
- だれかに、きいてほしい

子ども相談支援センターでは、いじめや不登校、性的マイノリティなどに悩む子どもたちや保護者からの相談を受け付けています。

メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

電話相談

0120-3882-56

旭川市子ども SOS 手紙相談のお知らせ

専門家があなたの悩み解消の
お手伝いをします！



こんなとき、
手紙で相談
できます

- ・自分がいじめられている
- ・周りの人がいじめられているところを見た
- ・誰かに話を聞いてほしい など

ひとりで悩まず
相談してね！



旭川市子ども
SOS

電話で話したいときは
こちらから（無料）

旭川市

子ども SOS

電話相談

0120-126-744

午前8時45分から午後5時15分
月曜日から金曜日（祝日を除く）

手紙相談の用紙は、保護者ポスト横と図書室に置いてあります。